

參考書目

- 經建會 (2006) 中華民國台灣 95 年至 140 年人口推計。台北：行政院經濟建設委員會人力規劃處。
- 教育部 (1999) 綜合高中課程實驗相關資料彙編。台北：教育部
- 教育部 (2006) 教育統計。台北：教育部
- 教育部 (2006a) 中華民國師資培育統計年報。台北：教育部
- 教育部統計處 (2006) 國民教育階段學生人數預測分析報告 (95-110 學年度)。台北：教育部統計處
- 張鈿富 (2004) 出生人口變化對台灣中小學教育的影響。師友，439，1-3。
- 梁金盛 (2004)。新生兒數量與國民小學教育供需問題研究。人口結構變化對教育發展之影響研討會論文集。國立花蓮師範學院，93 年 9 月 17 日發表，1-16-1 -33。
- 潘道仁 (2004) 少子女化時代學校經營之探討。師友月刊，449，40-42
- 郭添財 (2005) 人口遞減對當前教育之影響與未來教育之發展。台灣教育，632，34-35
- 游輝禎 (2006) 少子女化社會空餘教室利用方式之探討。
- 田振榮、宋修德、陳信正、牛涵釗、杜肇申 (2006) 高中職社區化 93 學年度成效評估。教育部編，全國高中職社區化研討會論文集。台北：教育部
- 翁麗芳 (2004)。當代日本的幼托政策—少子女化時代的幼兒托育與教育。台北：心理。
- 中央教育審議會 (2000)。少子女化と教育について。
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/12/chuuou/toushin/000401.htm
- 少子女化社会対策会議決定 (2006)。新しい少子女化対策について。平成 18 年 6 月 20 日。<http://www8.cao.go.jp/shoushi/taisaku.pdf>
- 人口問題審議會 (1995)。少子女化に関する基本的考え方について—人口減少社会、未来への責任と選択。平成 9 年 10 月。
<http://www1.mhlw.go.jp/shingi/s1027-1.html>
- 日本・東京商工会議所 (2006)。少子女化問題に関する提言～「出産・子育てに優しい経済社会」の実現に向けて。平成 18 年 5 月 11 日。
www.jcci.or.jp/nissyō/IKEN/060511syoushika.pdf
- 教育庁企画室企画グループ (1998)。少子・高齢化時代の教育。
<http://www.pref.ibaraki.jp/forum/forum03/f3-4.pdf>
- 厚生労働省 (2000)。少子女化対策推進基本方針について。
http://www1.mhlw.go.jp/topics/syoushika/tp0816-2_18.html

- 國立社會保障・人口問題研究所（2001）。出生数及び合計特殊出生率の推移。
<http://www.ipss.go.jp/syoushika/seisaku/html/111b1.htm>
- 國立社會保障・人口問題研究所（2001）。「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」。
<http://www.ipss.go.jp/syoushika/seisaku/html/111a1.htm>
- Cheung, P. P. L. (1989). Beyond Demographic Transition: Industrialization and Population Change in Singapore. *Asia-Pacific Population Journal*, 4(1), 35-48.
- Cheung, P. P. L. (1990). Micro-consequences of Low Fertility in Singapore. *Asia-Pacific Population Journal*, 5(4), 35-46.
- Thang, L. L. (2005). Private Matters, Public Concern: Procreation Issues in Singapore. *The Japanese Journal of Population*, 3(1), 76-108.
- Wong, T. & Yeoh, B. S. A., Fertility and the family: an overview of pro-natalist population policies in Singapore.
- Yap, M. T. (2003). Fertility and Population Policy: the Singapore Experience. *Journal of Population and Social Security (Population)*, Supplement to Volume I, 643-658.